

2 目標達成計画

事業所名： ケアホーム まごのて

作成日： 平成30年1月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	車椅子利用者様が多く、また、認知症状の低下にて1対1の対応が多いため、一部の利用者様を抜かし外の空気に触れさせることが出来ていない状況である。	少しでも外の空気に触れさせることにより、一日のメリハリや季節の移り変わりを実感していただき、生活にメリハリをつける。	日々の生活時間を見直し、対応可能な時間を話し合い、個々の利用者様に合った外気浴等に取り組んでいく。	12 か月
2	35	夜間における災害時の避難訓練は、車椅子利用者様が半数以上を占めるため、ミニ訓練しか行っていない。また、職員の入れ替わりがあり、実際に訓練を行っている者が少ない。職員間での連携を取り全員を非難させる訓練が必要と思われる。	夜間に全利用者様を対象に訓練を行うことで、避難時の安全性を高める。	職員同士で車椅子に乗り、夜間の避難訓練を利用者目線で行う。また、利用者対象に定期的にミニ避難訓練を行う。その結果も基に話し合いを行い、後日夜間に職員を招集し、全員の利用者様を対象に避難訓練を行う。	12 か月
3	6	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいるが、知らずに行っている場合が考えられる。スピーチロックに関しては職員がどの範囲までがスピーチロックに当たるのかなど分かっていないところがあるため勉強する機会が必要と思われる。	高齢者権利擁護として拘束のないケアを実践していく。	高齢者権利擁護推進委員会をリスクマネジメント委員会と共に行い、会社全体で行く。こうれう者権利擁護推進について研修したものを先立ちとし、委員会開催時や職員会議で勉強会を行う。	12 か月
4		利用者様のレベル低下に伴い外出の機会が減っている。また、当ホーム自体を知ってもらえる機会がなかなかできていない状況である。そのため外部との繋がりが弱くなってきている。当施設を外部に発信していく事が必要と思われる。	外部のイベント等に積極的に参加する。また、外部の人達を招き、当施設を知っていただく。認知症まちかど相談室を活用して頂く。	地域の総会や自治会の集りに参加し、当施設を知って頂く。地域の祭り等に積極的に参加したり、地域のサロンの方を招き当施設を知って頂き、交流を図っていく。	12 か月
5					か月